吉川委員資料

2009.11.27

DOWA ホールディングス株式会社
吉 川　廣 和

既に予約されていた東南アジアへの出張（受賞式）のため、本日の会議に出席できません。以下、ご挨拶に代えて、私見（メモ）をお届けいたします。

記

1．病院を事業としてみると「サービス産業」であり、「数値で評価」される。

2．病院は、一般企業の「経営」と本質的に同じ。
つまり、(医療のプロとしての高度な知見と経営のプロとしての豊かな経験とノウハウ）の有効な組み合わせで運営される。（トップ層の人材が key）

3．「経営」は単純化して考えることが肝要。 即ち、
（1）経営＝収入－支出（研究費も含む）をプラスにすること
従って、
◎ 収入＝医療収入＋助成金＋α → いかに増収策を実施するか？
◎ 支出　a)　無駄とり → 経営資源（人、物、金 等）の無駄はないか？
　　b)　効 率 性 → 経営資源投入量当りの効果があるか？
◎ 研究開発といえども、例外扱いは許されない。
（2）「時間軸」「情報」は経営資源として不可欠。
即ち、「期限のない仕事」「情報不足の仕事」は、経営の質を低下させる。

4．以上を、改革推進の面から整理すると、
（1）先ず、既存の方法、考え方、経験、慣例等に把われずに検討。
（2）収入増策、支出減策を聖域を設けずに策定（５Ｗ１Ｈによる)。
（3）病院改革の事例・経験の良質な情報を集め、作成した施策を最速・最短の時間軸で実行（時間の遅れ＝cost up）
（4）施策の推進結果は、極力数値化し、PDCA のサイクルを確実にまわす。

以上の考え方をベースに、企業経営者の経験を生かして、チームのお役に立ちたいと考えています。

以上